



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろするる〜ど

2024/4月号 第291号

かいほうし
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが 活動をつづ
つづ 続けています。

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

〜サロン月間カレンダー4月〜

■日本語学習会

日時：4月8日(月)～4月26日(金)
月(午前・午後)、水(午後)、金(午後・夜)

場所：会議室・学習室ほか

尚、29日(月)は祝日でお休みです。

*土曜学習会は4月13日から毎週実施します。

日時：4月13・20・27日(土)午後2時～4時

場所：会議室・学習室ほか

■実行委員会

日時：4月10日(水)午前10時～昼12時

場所：第1会議室

■フューチャー休館日

4月は、6日(土)・18日(木)が休館日です。

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。

ンの活動のPRを行いました。午後1時から、桜
通りにおいて市民団体による「民謡流し」が実施さ
れ、サロンも文化交流部会が中心となり、有志のボ
ランティアと、それぞれの民族衣装に身を包んだ14
名の学習者が参加し、この日のために重ねた練習の
成果を披露しました。

二日目は、家族連れがどっと会場に押し寄せ、ブ
ースに立ち寄ってくれた人たちに、前日「民謡流し」
を踊った学習者が、それぞれの自国語である韓国語、
マレーシア語、タミール語、ウイグル語、ベトナム語、
中国語、ミャンマー語で相手の名前をハガキに書き
てあげるサービスをし、とても喜ばれました。また、
外国人の姿も見られ、ブースを訪ねてきたベルギー
の男性は、履歴書の書き方を教えて欲しいとのこと
で、すぐに入会を決め、また、モンゴルの男性は、
妻をサロンに通わせたいとのことで4月から参加す
ることになり、嬉しい反応がありました。

3月に入ってからの連日の寒さで、残念ながら桜
の開花には至りませんでした。参加していただい
た学習者とボランティアさんの熱気は満開の二日間
でした。
(編集部)



「『桜まつり』に参加しました」

3月23日(土)・24日(日)の二日間にわたり、2024
年度の「桜まつり」が府中公園において開催されま
した。昨年は二日間とも雨天のため中止となり、一昨
年以來、2年ぶりの参加となりました。

初日は、冬のような寒さのなか、朝9時からブ
ースの設営をし、10時から午後4時まで来場者にサロ



世界の文化

昨年12月9日(土)に、日本語学習発表会がありました。そこで発表された内容を随時、紹介します。

「安全って何？」

グレアム・レベッカ (オーストラリア)



自分の人生って安全ですか？日本は平和で安全な国だとよく言われています。他の先進国と比べたら、寿命が長いです。犯罪率は極めて低いです。命を落とすほど衣食住で困ってる人がほとんどいないです。スーパーの棚が生鮮食品で溢れて、農場から食卓までコールドチェーンが当たり前で、食中毒の事件が減多にないです。「安心、安全」と言う表現がよく耳に入りますね。確かに法律上で材料、添加物、育った地域、放射線物質の検査の結果まで、消費者が安心して買ってくれるために、いろんな情報を書いてあります。公衆衛生のこと考えたら、水道のお水飲めます。子供には予防接種は無料です。日本では病気や怪我で入院しても高額医療補助金が出ますので、破産する恐れがないです。大震災に対しての建築基準、交通機関のフェールセーフなど、しっかり対策が置いてあります。それは間違いなく、すごく良いことです。安全な社会ってみんな欲しいでしょう。日本だけじゃなくて、いろんな国で最近安全性向上が進んでる傾向があります。一般的な生活がもっともっと、安全になるようにどのぐらい力やお金をかければいいでしょうか。怪我や病気だけじゃなくて不安、不便でも少なければ少ないほど人生が幸せになりますか？何から誰を守っていると思いますか？安全のためにどんな犠牲を払ってますか？

子供がもろくて守らなきゃという考え方が、もう

ごく普通になってます。すぐ親達の口からこのような言葉が聞こえます。「危ないからやめて。」例として、府中市に更新された公園の遊具の件をみましょう。寿中央公園は昭和時代から近所の子供に象公園と呼ばれてます。その理由は2メートル位の高さでコンクリートできていて、ピンク色の象さんがいましたから。恐ろしかったです。狭いはしごで上まで登ると柵もなくて、スライドの角度が急で、着陸が激しくて泣く小さい子が少なくなかったです。そして、慣れると上手に足を使って安全に着陸できるようになって、ニコニコしながら何本も滑りたくなります。これはもう過去の話です。リフォームで象さんが突然に消えました。代わりに新しい象さんが現れてきました。1メートルの高さでもなくて、2歳以上の子供が足が長すぎて地面まで届いてしまってもうすぐつまらなくなってしまう。公園で子供が木に登らないように、低い枝が全部刈ってある。お弁当は親がぶどうやブルーベリーを食べると窒息の恐れがあるので、子供に食べさせないように注意されている。不審者がいるかもしれないので、近所を歩かないようにしてる。右やぼうが危ないのて遊ばせないようにすること。

エスカレーターに乗る時、会話ができない程しくくアナウンスが聞こえます。

大変危険なので、必ず手を繋いでね。そういうのは神経的な負担があります。

子供には「念のため」など「ちょっと危ないからやめとこ」という言葉で何を教えますか？こういう意味も入ってます。自分の判断に頼らないで。この世の中に怖いのがいっぱいあってそれを避けたほうがいいよ。そういうことを言うと、子供には自分の制限がどこにあるか、試してみる機会を奪ってしまう。障害があっても、自分の力で乗り越える機会を奪ってしまう。最近体力がなくて自分の体に自信がなくて木をのぼる経験もない、画面ばかり眺めている子が増えてます。そういう子供はどんな若者になるでしょう。不安で麻痺されていて肥満の問題もあるし、引きこもりの現象とか。

できるだけリスクを減らそうという態度が間違え

てると思います。まずはゼロリスクってただの幻で、自分の人生にはコントロールできないのが多いです。リスクがあってもある恩恵が受けられます。学ぶことにはミスが必要です。例えば、違う言語を学ぼうとしたら、ミスが怖くて口を開けてみないとしゃべれるようにならないでしょう。人生には大事な恩恵を受けるためにあるほどリスクを受けるを向かうことも必要です。スポーツを楽しむ、旅に行く、好きな人に告白する、転職する、起業をする、作品を作る、人の前で立って自分の意見をはっきり伝えることもそうでしょう。

「私の人生を変えたゲーム」

ウォン・ヒョン (韓国)



こんにちは。韓国出身の学習者、ウォン・ヒョンと申します。お会いできて嬉しいです。私はゲームが好きです。それでゲームについて話したいと思います。

初めてゲームに接した時期は小学校2年生の時です。

いいところに連れて行ってくれるという姉の言葉に惹かれて、ゲームセンターに行くことになりました。派手なグラフィックと軽快なメロディー…そこは私にとって新しい世界のように感じました。これをきっかけに、暇があればゲームをするようになりました。当時やっていたゲームはギャラガ (Galaga)、バブルボブル (Bubble Bobble)、ソンソン (Sonson)、ポンポコ (Ponpoko) など横移動スクロールゲームがほとんどでした。

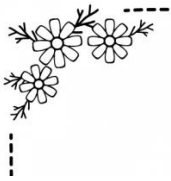
その後、私に大きな変化のきっかけを与えたのは、中学2年生の時に発売されたストリートファイターというゲームでした。ストリートファイター2は対戦格闘ゲームです。私はこのゲームの魅力的なキャラクターと迫力溢れるモーションに惚れるようになりました。このように個性的なキャラクタ

ーを作るには、キャラクターデザイナーという職業が必要だと思いました。今まで目的もなく描いていた絵もキャラクターの印象、性格、個性を気にしながら絵を練習するようになりました。この時期に様々な格闘ゲームがリリースされ、とても楽しかったです。サムライスピリッツ (Samurai Shodown) のハオマルというキャラクターは、日本のサムライの動作が大きく迫力のある感じが最高でした。シャルロットはフランスの騎士のフェンシング技術の優雅で繊細な美しさを表現しました。私は格闘ゲームが好きですが、実力は高くないです。それでゲームが上手な人に会うと負ける場合も多かったのですが、月下の剣士に一条あかりという陰陽師のキャラクターをプレイしながら超必殺技を練習しました。判定がいいキャラクターなので勝つことも多かったし、エンディングも見やすく嬉しかったゲームです。その後、ソウルキャリバー (Soul Calibur)、デッドオアアライブ (Dead or Alive)、鉄拳 (TEKKEN)、バーチャファイター (Virtua Fighter) など多くの3Dゲームが発売され、期待感と楽しさは大きくなりました。

90年度末にはRPG (role-playing game) ゲームやウルティマオンライン (Ultima Online)、韓国MMORPG (オンラインRPG, PC) をするようになり、中世ファンタジー世界観に魅了されました。

私はこの時期ゲーム雑誌社でイラストレーターとして勤めながら個人的に同好会を作って同人誌を作りながら過ごすようになりました。その時に、ゲーム会社の募集公告を見て応募し、ついにゲーム会社に就職することになりました。ゲーム会社に通いながらいろんな大変なこともありましたが、同僚とそれぞれ自分の分野で最善の結果を作るために一緒に努力する過程がとても楽しくてやりがいがありました。ゲーム会社は私にとってきらめく大切な経験だと思っています。

幼い頃ゲームをするようになってから、私は人生が大きく変わったと思います。ゲームに出会わなかったら別のことをしていると思います。感動的なゲームに出会って、いろんな経験をして、成長できるようにしてくれたことにとっても感謝しています。



わたし 私のふるさと ~50~

もり みやこ せんだい 「杜の都 仙台」

すいよう 水曜ボランティア にしみや ちかこ 西宮 千嘉子

わたし ふるさと、歌手のさとう 宗幸のヒット曲『青葉城恋唄』で全国的に有名になった杜の都 仙台です。

「杜の都」は仙台の代名詞。「杜」は山などに自然に生える樹木や草花だけではなくそこに住む人々が協力し合い長い年月をかけて守り育ててきた豊かな緑をいうそうですが、青葉通りや定禅寺通りのケヤキ並木にそれを窺い知ることができます。

私の住んでいた向山は、広瀬川を挟んで南に位置し遠く太平洋まで望める丘陵地帯にあります。途中で昔鹿が通った急坂ということで名がついた鹿落ち坂という坂道があるので登りはちょっと大変ですが、坂と並行して流れる広瀬川の切り立った自然崖の美しい景観を眺めながら歩けばなんのその。さらに坂を上ると八木山です。動物園と遊園地があります。そこから少し行くと八木山と青葉山の間の溪谷にかかる八木山橋があります。橋から眺める初夏の新緑、秋の紅葉はみごとです。橋の下は3kmに及ぶV字型の溪谷になっていて「竜の口溪谷」と呼ばれています。昔は散策することができましたが、現在は落石の危険があり立ち入り禁止となってしまいました。橋を渡ると仙台藩主 伊達政宗公の銅像のある青葉城址があります。そこからは仙台市街を一望することができます。



だてまさむねこう ぞう 伊達政宗公の像

近くには広大な敷地を占める東北大学青葉山キャンパスがあり、近年その広大な土地に次世代放射光施設開発センターが建設されました。

東北三大祭りの一つ「仙台七夕祭り」は400年以上の歴史を持つ一大行事です。豪華絢爛な七夕飾りが市の中心部や商店街に彩り豊かに飾られます。和紙でできた豪華なくす玉や吹き流しや、からくり人形

に目を奪われることでしょう。

仙台名物は、ずんだ餅(すりつぶした枝豆に砂糖と塩を加えた餡を絡めた餅)、笹かまぼこ(魚のねりもの)、牛タンです。是非ご賞味ください。

「杜の都 仙台」は、新幹線や地下鉄網が発展し近代化されるとともに最先端の技術開発を担う都市となりましたが、今も昔からの自然、歴史、文化が息づく落ち着いた町です。

仙台から日本三景の一つ「松島」へもアクセスできます。仙台にいらした際には足を延ばさるはいいかがでしょう。



せんだいたなばたまつ 仙台七夕祭り

しゃしんでいきょう せんだいいしかんこうか 写真提供: 仙台市観光課

みな がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

モルシー・ノハさん (エジプト)

「なるほど、なるほど！」



2023年9月エジプトのギザから来日しました。ピラミッドから徒歩で15分のところに住んでいました。カイロのアインシャムス大学では、アラビア語、文学を専攻しました。大学でアラビア語の先生の助手として教えていて、学生の中にいたイスラムに興味を持ち何回も大学に来た日本人と知り合い結婚し、ご主人の帰国で日本にきました。

今は主婦業ですが将来は母から教わったエジプトの料理などで料理教室を開きたいそうです。エジプト中の料理の中で母のマハシ(野菜の中にご飯を詰めたもの)が一番だそうです。

日本で行ってみたいところは、京都と北海道。エジプトで「舞妓さんのまかない」のテレビを見て、着物や伝統的な家、食べ物に興味を持ったそうです。北海道は、乳製品が好きなので、行ってみたいです。でもエジプトのバターが一番好きだとか。

好きな日本の食べ物は、お寿司で、サーモン(トロサーモン、炙り)が一番で、まぐろ、エビも好きだとか。また、納豆は、パンにマヨネーズと挟んで食べているそうです。

日本語は発音がとても上手です。好きな日本語は「なるほど」です。もっと勉強して、ご主人のおばあちゃんと話したいそうです。なるほど、なるほど。

(取材・文構成・末田)

おし かた

こんな教え方しています

わたし ほうほう おし
「私は、こんな方法で教えています」

きんようごご ふくしま なおこ
金曜午後ボランティア 福島 直子

私は、「府中国際交流サロン」でボランティアとして活動を始めてから、かなり長い年月が経ちましたので、かなり多くの国の方々に、日本語を教えたこととなります。ボランティアになる為に受けた研修が、もちろんベースになっていますが、実際に教え始めてみますと、学習者さん個人は、日本に滞在している事情がそれぞれ異なり、それ故、必要としている日本語のレベル、内容が異なるのだということがわかります。これは私自身の海外滞在の経験からもよく理解できます。つまり、必要としている日本語が、学習者さんのモチベーションとなるのです。しかしながら、私の今の学習者さんは少し違います。実生活では、日本語の必要性は少ないにもかかわらず、とても熱心に学習され、日本語能力検定試験も受けたいと、自身で購入したテキストを持参してサロンにいらっしやっています。私の推察では、彼女は、何かを学ぶ、ということが好きな、根っからの努力家なのです。余談ですが、この文章を書いている最中に、「先生、日本語検定3級、合格しました！」と、ラインが届きました。私も、彼女からとても良い刺激を受けています。さて、この文章の題の「こんな方法」とは、「一つの決まった方法ではなく、学習者さんに寄り添い、一緒に作り上げていく方法」だと、改めて認識しています。ベースはあるものの、その上に、学習者さんの数と同じ方法が存在するのです。



学習会だより

今月号から、日本語学習会(学習5部会)の日頃の活動の様子をお伝えする「学習会だより」の欄をスタートします。掲載は不定期になりますが、どうぞお楽しみに!



「みんなで、『さくら さくら』を歌いました」

月曜午前ボランティア 安達 みゆき

3月11日(月)の学習会で「お楽しみ会」を行いました。前々週にボランティアで「お楽しみ会」に何をするか話し合いました。今回は日本の歌を歌ってはどうかというアイデアが出され、ちょうど桜の季節ですので『さくらさくら』を歌おうということになりました。

当日の進行を私がやることになり、楽譜と、歌詞と、歌詞の意味を書いたプリントを作り、これを一人1枚配って進行しました。

まずYouTubeで『さくらさくら』の曲を流して聴いてもらいました。音は携帯スピーカーで皆さんに聞こえるようにしました。それから歌詞の意味を説明し、歌詞を口に出して読む練習をしたあと、音に合わせて歌いました。それを2番まで繰り返したあと、皆さんに立ってもらって少しストレッチをしてから、1番と2番を通して歌いました。数回繰り返すうちに皆さん慣れてこられて、立って歌ったことで歌声も大きくなりました。

ほとんどの学習者がこの曲を知りませんでしたので、曲の紹介としては良かったと思います。歌詞の説明は分からなかった方もいらっしゃるでしょうが、少しでも楽しんでくださっていたらいいなと思っています。



「スピーチとビンゴゲームを

楽しみました」

金曜夜ボランティア 上嶋 康子

3月22日(金)は、今年度最後の夜の学習会でした。夜の学習会は、終わりの時間になると早く部屋から出ないといけないことと、夜遅いということもあり、また、ボランティアさんが、自分の担当する学習者以外の学習者さんと顔を合わせることは少ないのです。

そこで今回は最終日でもあるため、お互いの交流の場を作ろうと計画されました。参加者は、学習者13名、ボランティア18名でした。

第一部は自己紹介でした。自己紹介では、いつ日本に来たのか、好きな食べ物、仕事などを話してもらいました。スラスラと話す人が多かったです。そして日本の料理が好きな人も多かったです。中には「御朱印」集めが好きな人もいました。そして、これからの目標なども発表してくれました。日本で店を作りたい、日本の経験を活かして母国の為に働きたい、JLPT1級に合格したい、きちんと文章を書きたい、など様々でした。また、学習者から、なぜボランティアをしようと思ったのですか、という質問もありました。6名の方がそれぞれの経験を通して理由を話してくれました。

第二部ではビンゴゲームをしました。早々にビンゴになる人、ほとんど最後までビンゴにならない人などいろいろでした。少し緊張もあった様子でしたが、最後には和気あいあいとした雰囲気でした。



「Fuchu、それとも Futyu？」

きんようよる わだ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田 泰弘

「府中」のアルファベット表記は、今は「Fuchu」が一般的ですが、一方で「Futyu」という表記もあります。私が小学校5年(1958年)で習ったローマ字の表記の仕方は「Futyu」のほうで、例を挙げると、「たぎ行」は「ta・ti・tu・te・to」、「ちや・ちゆ・ちよ」は「tya・tyu・tyo」、「さ行」は「sa・si・su・se・so」、「ざ行」は「za・zi・zu・ze・zo」でした。中学に進学した時、友人の、肩から斜めに掛ける白い布製のカバンに「Satoshi Shimoda (下田三登志くんという名前だった)」と、カッコいい筆記体で名前が綴られており、「し」を「shi」と表記することに新鮮な驚きとともに、「なぜ？」という疑問も覚えました。

また、当時、六大学野球に夢中で、明治大学のユニフォームには筆記体で「Meiji」と、「じ」が「zi」でなく「ji」と綴られており、「si」と「shi」の違いと相俟って、中学生の頭の中は混乱し疑問は深まるばかりでした。後年、ローマ字にはヘボン式、訓令式、日本式(訓令式とほぼ同じ)という表記の仕方があ

ることを知り、謎は解きました。例えば、「新聞」「社長」「散歩」は、訓令式では「sinbun」「syatyou」「sanpo」、ヘボン式では「shimbun」「shacho」「sampo」と、「あっち」は、訓令式では「atti」、ヘボン式では「atchi」と表記します。現在、小学校では、ヘボン式を認めつつも、1954年に「ローマ字のつづり方」として内閣告示された訓令式を採用していますが、今や、ヘボン式の表記が広く使われているということで、実態に合わせた表記を70年ぶりに見直すことが、先日、国の文化審議会から報告されました。

ふたたび、話は六大学野球に。立教大学のユニフォームには、長嶋茂雄の時代から変わらず今でも「Rikkio」と綴られ、訓令式なのかヘボン式なのか、今でも謎なのです…。

「日本語教授法研修会開催のお知らせ」

今年度(2024年・令和6年度)も下記の要領で「日本語教授法研修会I・II」を開催します。募集告知については、4月1日発行の府中市広報にて掲載します。

■日程：

*教授法研修I

5月9日(木)～7月25日(木)の毎木曜
但し、6月20・27日を除く。

*教授法研修II

9月5日(木)～10月24日(木)の毎木曜
研修IIには、11月9日(土)の「音声」と、
11月16日(土)の「在留資格」が含まれ、全
20回の研修会となります。

■時間：午後2時～4時

■場所：「フュール」第1・2学習室

■定員：25名(府中市在住の方)

■受講料：5000円

■テキスト代：I・II各2500円(計5000円)

■講師：山田しげみ先生(東京外大オープンアカデミー講師)

*なお、現ボランティアの方々も受講または、希望する回の一部聴講(いずれも5名まで)ができます。詳しいことはサロン事務局にお問い合わせください。
(研修部会)

「今年度の学習会日程が決まりました」

2024年度(令和6年度)の学習会の日程が決まりました。今年度の学習会は4月8日(月)から始まります。1学期は7月19日(金)が最終となり、2学期は9月2日(月)から始まり、12月23日(月)が最終となります。3学期は1月6日(月)から始まり、3月24日(月)で終わります。

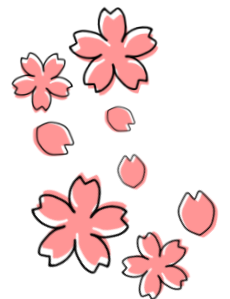
各学習部会の年間の開催回数は、月曜午前が34回、月曜午後が34回、水曜午後が39回、金曜午後が38回、金曜夜が38回、全部で183回の開催を予定しています。「日本語学習会日程表」は、サロン事務局にありますので受け取ってください。(編集部)

へんしゅうこうき ～編集後記～

3月から4月は、別れと出会いの時期になります。学習者の方も、台湾に帰国する方、インドに帰国する方もいます。それぞれの国で生立ち、奇遇にも府中国際交流サロンで私たちと出会い、多くの思い出を紡ぐことができました。学習会での会話、日本語の発表会、展示ブースへの参加、JLPTへの挑戦、花見見学や、学校訪問、夏の交流会、生け花等の文化交流などなど。子供連れの微笑ましい姿はとても素敵でした。

この時期は、桜が満開の花をさかせます。その生きざまを謳歌して、一夜にして散ることも。そして、新たな旅立ちを始めます。

毎年、同じ桜でも新鮮な面持ちがあります。同じ人たちとも友好を深めながら、新たな人たちとの出会いも大切にしていきたいものです。(末田)



- 「日本語を誌上で学習しよう！」の答
- 1) イ・掲載・掲出 2) ウ・活躍・躍如
3) イ・催し物・催眠 4) イ・悪弊・疲弊
5) ウ・紛れ・紛糾

【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：堤林・和田・岩城・末田

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>



「日本語を誌上で学習しよう！」

今回は、今年の大学入学共通テストの国語問題からの出題です。1)～5)までの傍線部カタカナに相当する漢字を含むものを、下のア～エの各群のうちからそれぞれ一つずつ選んでください。

■問題

- ウェブサイトにケイサイする
 - 名著にケイハツされる
 - 連絡事項をケイシュツする
 - 方針転換のケイキになる
 - 一族のケイズを作る
- プログラミング機能がカツヤクする
 - 神仏のゴリヤクにスがる
 - あの人はケンヤク家だ
 - 面目ヤクジョの働きをする
 - 重要なヤクショクにス就く
- モヨオし物は「音楽」以前に典礼である
 - 議案をサイタクする
 - サイミン効果のある音楽
 - カッサイを浴びた演技
 - 多額のフサイを抱える
- 十九世紀的なアクヘイにスぎない
 - 機会のコウヘイを保つ
 - 心身がヒヘイする
 - 室内にユウヘイされる
 - オウヘイな態度をとる
- マギれもなく宗教行事である
 - 不満がフンシュツする
 - フンベツのある大人になる
 - 議論がフンキウする
 - 決算をフンショクする

* 答は編集後記の後にあります。